

レッドアヴァンセの23

全400口 | 1口出資額125,000円(税込) | 総額5,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



G1に手をかけた母の夢を実現、頂上を知る父が王道へと導く

現時点における馬体の特徴と適性

デビュー4戦目のOPエルフィンSを制し、牝馬クラシック戦線に名乗りを上げた当クラブ所属の母は、桜花賞7着、オークス7着、秋華賞5着と、世代一線級の実力を示しました。古馬となってからも、準OPユートピアSを勝ち、G2阪神牝馬S2着、G1ヴィクトリアマイル3着、G3富士S3着と実績を積み上げ、大きな期待を担って繁殖牝馬入りとなりました。そして、現代の日本を代表するトップサイアーの一頭であるエピファネイアを父に迎えて誕生した第3仔となる牡駒が、本馬ということになります。しなやかな首差し、腰にかけてのラインも美しく、ゆったりとした背中には深みがあり、胸筋も発達している胸前、形状の良い大きめのトモ、伸びやかな胴といったパーツが構成する馬体は、バランスの良さと共に得も言われぬ品の良さを醸し出しています。また、まったく問題点を感じない前肢、飛節に伸びがある後肢、脚元がスッキリとしているのも強調材料でしょう。芝中距離適性の高さから、番組が豊富となる2歳秋のデビューが理想。G1エリザベス女王杯馬エリモシクなど、数多くの重賞ウイナーを送り出した名門母系の新たな旗手として、目の覚めるような活躍が望める素質馬です。

手塚貴久調教師コメント

これまでの兄2頭はロードカナロア産駒で、スピード優位なタイプのイメージがありました。3番仔の本馬は父がエピファネイアに替わったことで、馬力が増した印象を受けます。トモの迫力もあり、完成した馬体を想像すると全体のスケールも踏まえ、パドックで目を引く存在になるのではないのでしょうか。エピファネイア産駒ということで、距離もある程度の融通は利きそうですから、まずはクラシックの王道を突き進む青写真を描きたいと思います。母レッドアヴァンセは音無調教師、クラブ共にとても大事にされてきた良血馬。その子供を託して頂くのは非常に光栄なことですし、重責も承知しています。これほど活躍馬を輩出している母系なのに、何故かG1のタイトルには届いていません。だからこそ、本馬でそのミッションにトライし、是が非でも叶えたいと思います。

	クリスエス	Roberto	
	*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
	Symboli Kris S		
	黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
エピファネイア		Tee Kay	Tri Argo
Epiphaneia			
鹿 2010		スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス
シーザリオ		Special Week	キャンペンガール
Cesario			
青 2002		*キロフプリミエール	Sadler's Wells
		Kirov Premiere	Querida
		*サンデーサイレンス	Halo
ディーブインパクト		Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact			
鹿 2002		*ウインドインハーヘア	Alzao
レッドアヴァンセ		Wind In Her Hair	Burghclere
Red Avancer			
黒鹿 2013		*ダンシングブレーヴ	Lyphard
エリモビクシー		Dancing Brave	Navajo Princess
Erimo Pixy			
鹿 1998		エリモシューテング	*テスコボーイ
		Erimo Shooting	*デブグリーンフ

サンデーサイレンス:M3×S4 Lyphard:M4×M5 Halo to Reason:S5×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

手塚貴久調教師(美浦)

◆1964年9月20日生 ◆1999年開業(26年目) ◆JRA通算662勝 ◆JRA重賞37勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- フィエールマン:天皇賞・春(G1)2回、菊花賞(G1)
- ソールオリエンズ:皐月賞(G1)
- ユーバーレーベン:オークス(G1)
- アユサン:桜花賞(G1)
- シュネルマイスター:NHKマイルC(G1)
- アジアエクスプレス:朝日杯FS(G1)
- アルフレード:朝日杯FS(G1)
- ウインマリリン:日経賞(G2)、オークス(G1)2着
- アイムユアーズ:フィリーズレビュー(G2)
- ハートレー:ホープフルS(G2)



ファミリー(母系)

母の父 **ディーブインパクト**は早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:オーギュスト ロダン(英ダービー-G1)。**【BM S:主な産駒】**プロウアウト(ファースト レイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)、ブレイディヴェーグ(エリザベス女王杯-G1)

母 **レッドアヴァンセ**(13 ディーブインパクト) 4勝、エルフィン S-OP(芝1600m)、ユートピア S(芝1800m)、三面川特別(芝1800m)、阪神牝馬 S-G2 2着、ヴィクトリアマイル-G1 3着、富士 S-G3 3着、秋華賞-G1 5着。産駒 レッドヴァンシュ(20 牡 黒鹿 ロードカナロア)入着、東海(G) 3勝、[Ⓜ]レッドエヴァンス(21 牡 黒鹿 ロードカナロア)入着、[Ⓜ]

祖母 **エリモビクシー**(98 *ダンシングブレーヴ) 7勝、ファイナル S-L、陽春 S、フリビント、知多特別、京都牝馬 S-JPN3 3着、愛知杯-JPN3 3着、福島牝馬 S-JPN3 3着、ポートアイランド S-L 3着、都大路 S-L 3着、エリザベス女王杯-JPN1 4着、府中牝馬 S-JPN3 4着。産駒

レッドアリオン(騎 アグネスタキオン) 7勝、マイラズ C-G2、同 4着、関屋記念-G3、ニューイヤール S-L、洛陽 S-OP、西宮 S、フローラルウォーク賞、ニュージーランド T-G2 2着、リゲル S-OP 2着、富士 S-G3 3着、アーリントン C-G3 3着、NHKマイル C-G1 4着

リディル(牡 アグネスタキオン) 5勝、スワン S-G2、デリー杯 2歳 S-JPN2、米子 S-L、谷川岳 S-L、白富士 S-L 2着、洛陽 S-OP 2着

クラレント(牡 ダンスインザダーク) 7勝、デリー杯 2歳 S-G2、京成杯オータム H-G3、富士 S-G3、エプソム C-G3、東京新聞杯-G3、関屋記念-G3、京王杯スプリング C-G2 2着(2回)、安田記念-G1 3着、NHKマイル C-G1 3着、毎日王冠-G2 3着、阪神 C-G2 3着

サトノルバン(牡 ディーブインパクト) 5勝、京阪杯-G3、タンザナイト S-OP、道頓堀 S、スワン S-G2 2着、ファルコン S-G3 2着、六甲 S-OP 2着、オーロ C-L 3着

レッドオルガ(牝 ディーブインパクト) 5勝、紅葉 S、湘南 S、賢島特別、豊川特別、東京新聞杯-G3 2着、富士 S-G3 3着

レッドヴェイロン(牡 キングカメハメハ) 5勝、バレンタイン S-OP、紅葉 S、鷹巣山特別、キャピタル S-L 2着、霜月 S-OP 2着、NHKマイル C-G1 3着、アーリントン C-G3 3着、櫻 S-OP 3着、[Ⓜ]

配合診断

父のスタミナと母のスピードが融合する理想形、大舞台で実証されるファミリー最強馬の誕生

母レッドアヴァンセは4頭の重賞勝ち馬を兄に持つ超良血馬。現役時代は惜しくも重賞こそ勝てなかったものの、ヴィクトリアマイル(G1)3着、阪神牝馬S(G2)2着など優れた競走実績を残しました。それに加えて、ディーブインパクトとダンシングブレーヴのニックスを持つので、繁殖牝馬として大きな可能性を秘めていると思われます。「エピファネイア×ディーブインパクト」の組み合わせは、アリストテレス(アメリカJCC)、エピファニー(小倉大賞典)、オーソクレース(菊花賞2着)、ディヴァインラブ(菊花賞3着)などコンスタントに活躍馬が出ています。この組み合わせはスタミナを活かした競馬を得意とする傾向が見られるので、スピードと瞬発力を強化する母のニックスは、組み合わせたときに大きな効果をもたらすでしょう。芝向きのマイラー〜中距離馬。